

日本共産党品川区議会議員 週刊区政報告

なかつか 亮



2012年7月22日(日)

NO365

区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231

さよなら原発10万人集会

代々木公園にて

17万人の熱気

脱原発の政治決断求める



この姿をお伝えしたくて写真を一面にのせました。原発ゼロを求める住民の意思が代々木公園に結集。全国から17万人が参加しました。

週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載
フェイスブック始めました ほぼ毎日更新中! 気軽に「友達リクエスト」の送信を



会場に向かう参加者。矢印のビルはNHK。
この集会をどう報道したのでしょうか。

原発反対の熱気で包まれた代々木公園。当日、音楽家の坂本龍一さんは「こうやって市民が声を挙げているという事は感無量です。電気のため子どもの命を危険にさらすようなことは、すべきではありません」と発言。作家の瀬戸内寂聴さんは「5月で90歳にな

りました。100年前、自由を奪われた時代がありました。過去の人たちが苦勞して、自由を守ったから今日があるのだと思います。いま原発をとめる。政府の方向を変えることになるか、わかりません。それでも集まらなければなりません。言い続けましょう」

と発言しました。

品川区長の態度

先日の品川区議会
で共産党は「原発ゼロを国に求めて欲しい」と区に要望。ところが濱野区長は「全国1800もの自治体の長が意見を述べると、收拾がつかなくなる。国がやるべきものに意見を言うのは差し控える」と答弁しました。

「收拾がつかないから」とは、どういう意味か。原発再稼働で、住民の生活を危険にさらす政府の対応に、区民を代表して自治体の長が意見を述べることは必要ないでしょうか。品川区の姿勢も正さなければなりません。なかつか亮

6月21日 品川区議会

「原発ゼロを国に求めよ」に対する濱野区長の答弁要旨

濱野健品川区長「全国には自治体の数、都道府県、政令指定都市含めて1800弱の自治体がございます。こうした1800におよぼうとする自治体の長が、原発について様々な意見を開示するという事は、私はいかがなものかと思っています。関係自治体の長が、この問題について発言をするという事は当然ですが、1800もの自治体が、もし物を言うとするれば、收拾のつかないことになろうかと思ひます。地方自治体の長というものは、自治体の問題、あるいは自治体全体の地方自治にかかわる問題、こうしたことは積極的に発言をしまひますが、国がやるべきものについては意見を差し控えるべき、そのように考えています」

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

9月14日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**